



後藤英鵬 書 (県三)

第42号

発行 県立富士宮北高等学校同窓会 北嶺会  
静岡県富士宮市宮北町230 (北高内) 電話 (0544) 27-2533 (代)

編集 北嶺会広報委員会  
印刷 株式会社きんさつ

今年は、母校の「中央並木」は二〇一一年の台風十五号で倒れた後に補植したソメイヨシノの若木も全枝に花をつけ、満開の下を二三七名の新入生が入学いたしました。残念なことに、今年も母校への入学生が定員割れとなり厳しい年となりました。七十周年記念式典の第一回会議で日野原校長より「二〇一八年度からは富士・富士宮地区も生徒数が減少し定員割れの時代となり、廃校・合併の時代が始まります」と話がありました。三年後にはその十八年を迎えます。昨年同様今年も定員割れとなり残念でなりません。何として



も四十名六クラスを維持したく、昨年度は望月校長と連携して母校出身の中学教諭との会を復活し、今年も開催を計画しています。田神校長が「学校回りだけではなかなか進めることが難しい」との申し出から始まりました中学教諭との懇談会も前林・佐野馨両校長先生が退職するとリーダー不在となり消滅してしまいましたが昨年復活でき、何とか二四六名以上を目指してまいります。それにはキャンパスの整備も重要で、PTAと連携し毎年整備に力を注ぎ、今年も東側の檜木の枝打ちを行います。広大な校庭ですから年一回では無理があり昨年からは二の宮の「北高のみどりを守る会」の方々の協力を得て一月にも行っています。会員のみな様にもご協力頂

平成三年建立  
皇太子殿下行啓記念碑



きたいと願っています。また、母校への進学をお勧め下さい。長年の懸案でありました「北嶺会二の宮支部」の発足を前林裕と赤池博道両氏が発起人となりスタートすることになりました。軌道に乗れば二中学区に拡大する機会となり、それが全市内の中学校区単位に発展すればと願っています。今年度の定例総会は五月二十四日です。会員のみな様のご参加をお待ちいたしております。

## 2015 北嶺会総会 ご案内

と き：平成27年5月24日(日)  
と ころ：クリスタルホール・パテオン  
会 費：男性 5,000円 女性 3,000円

受 付：午後 1 時  
総 会：午後 2 時  
懇親会：午後 3 時

北嶺会活動報告

関東北嶺会総会に参加して

昭和五十一年度卒 渡邊 一敏

平成二十六年五月三十一日、私は初めて東京の青山墓地にある望月軍四郎翁のお墓を訪れ、お参りをさせていただきまし

青山墓地では関東北嶺会の方達がすでに墓参りの準備を終え、出迎えて下さり、その心使



一番後列の一番右の方が川島明さんです

さんとお会っている。いろいろな野球部の話をさせていただいたことが印象に残っています。大変うれいもう一つの出会いがありました。昭和二十五

六月二十五日発行の第五十六号のふれあい通信が川島先輩から送られてきました。漢字ドリルやみなさんからの記事も載せ、短歌、俳句、川柳そして一口説法などが盛り込まれている大変素晴らしい小冊子でした。この次はいつ届くんだろうと楽しみにしている、その一ヶ月後に平成二十六年七月三十一日発行の第五十七号のふれあい通信が送られてきました。

そして私が一番驚いたことは大変かわいがっていただいた故芹澤清人先輩の描いた「白糸の滝」が最後に届いた第五十七号の表紙の絵だったのです。白糸の滝の滝つぼで土産物店をやっていた自分にとっては驚くほかにありませんでした。何という

母校北高・そして地域の為に！

昭和二十六年度工業化学科卒 前林 裕

私の住む二の宮区の西端は母校北高となる。その母校を卒業して六十四年、校長を最後に退職後は実家で農業をして過ごしていた十二年前、女生徒が登校時車に引込まれる事件が起き、何とかしなければと富士宮安全・安心パトロール隊二の宮支部を立上げた。現在十三名(内四名同窓生)の隊員が夜間三人一組でチームを作り交代で夜間パトロールをし、朝は登校する子供達を見守る運動を続けている。

また、今年は北嶺会二の宮支部を結成することを決め、五月には準備会を発足する。まだまだやることは沢山ある。あと十年は頑張り世の為、母校の為に尽くすつもりだ。

その仲間は器用で多種多様な特技を持ち、パトロール活動だけでなく、大宮小学校の卒業式、入学式、廃品回収、花壇の整備などを行い、ま

# 北嶺会入会式

二月二十七日、二百四十五名の卒業生が北嶺会に入会しました。入会式において、生徒代表があいさつ。式のあと、後藤修一氏（昭和五十九年度卒）により「言葉・絆・出会いと仲間」と題する記念講演が行われました。

入会式は西川会長の歓迎の挨拶から始まりました。

会長から「北嶺会入会おめでとう。北嶺会の発展のために、君達の新しい力を發揮して下さい。期待しています。」との言葉があり、続いて校長よりあいさつがありました。

更に、生徒代表より「感謝と誓い」の言葉がありました。ここに全文を掲載いたします。



## 生徒代表挨拶

神谷 玲 於

降り注ぐ日差しは日ごとに温かくなり、旅立ちと別れの季節を迎えています。

私たち二百四十五名は、本日、伝統ある富士宮北高同窓会に仲間入りをさせていただきました。同窓会の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

私たちは、この富士宮北高校で「覇気、信念、明朗」の校訓のもとに勉強、部活動、学校行事などの諸活動に精一杯取り組んでまいりました。

私達がそれぞれ有意義な学校生活を送ることができましたのも先生方の御指導と同窓会の皆様方の数々の御支援の賜物と、深く感謝いたします。

富士宮北高校同窓生としての誇りを持ち、我が母校の発展に寄与できるよう努力することを誓い代表の挨拶いたします。



## 記念講演

言葉・絆・出会いと仲間

富士宮市消防団 団本部指導副部長



後藤修一氏

仲間」と題し、熱く語られてゆきました。

後藤氏は二十歳より地元消防団に入団し、分団長を経て団本部指導副部長として、富士宮市の地域防災活動をやってこられ、様々な経験をされました。

その経験の中からテーマである『言葉・絆・出会いと仲間』について、氏が学んで行った事を話され、その大切さを、重要さを卒業生に訴えかけられました。

講演の結びとして、『いつでも、あいさつと笑顔を忘れないこと。』

・人に言われてからでなく自分から、当たり前のことを当たり前に自分の頭で考え、進んで行動すること!!  
・校訓の「覇気・信念・明朗」すばらしい校訓を教訓にして頑張れ。受け継いだモノ・心を持って「未来」を歩く  
まずは行動すること!!  
一歩踏み出せ!!

・進学する人も就職する人も社会に出てからも富士宮北高を卒業したことを誇りに思い、これからの人生を歩んでください。

・夢なき者は 目標なし  
・目標なき者は 計画なし  
・計画なき者は 行動なし  
・行動なき者は 成果なし  
・成果なき者は 喜びなし  
皆さんの大きな夢が実現できますようにお祈りします。

お願いがあります。  
是非卒業しても母校北高を愛し応援をしてください。

そして今度は君達の番です。君たちの中からこの壇上に上がり同窓会入会式で後輩の前で話をするのは!!

最後に卒業式の朝、お父さんお母さんまたは、家族の人に「ありがとう」と一言、感謝の気持ちを伝えてください。』と、卒業生に熱い思いを伝え、記念講演を終りました。



絵 会



会場風景



校長あいさつ



会長あいさつ



受付風景

懇 親 会



平成二十六年  
北嶺会総会・懇親会

平成二十六年五月二十五日(日)、平成二十六年北嶺会総会と懇親会がクリスタルホール・パテオンを会場に開催されました。当番幹事(昭和五十二年卒業)の尽力により大勢の同窓生・恩師の出席のもと盛大に行われました。

25 年度会計報告

収入の部

入 会 金	2,876,000
会 費	0
雑 収 入	547,679
繰 越 金	3,723,968
合 計	7,147,647

支出の部

事 業 費	1,371,750
運 営 費	882,154
管 理 費	180,496
収 支 剰 余 金	2,909,247
積 立 金	180,000
そ の 他	4,000
合 計	7,147,647



アトラクション

静岡県立富士宮北高校同窓会  
**北嶺会**

北嶺会・同窓会ホームページ

[hokureikai.jp](http://hokureikai.jp)

Facebook



静岡県立富士宮北高校同窓会  
**北嶺会**

HOKUREI  
Facebook

ホームページの強化とフェイスブックを始めました!!

今現在も沢山の同窓生の方に見ていただいています。

同窓生の皆様、ホームページとフェイスブックを通して同窓会の輪と絆を深め、母校を応援していただければと思っております。

ぜひ、たくさんの「いいね」ボタンを押して頂けたら嬉しいです!

記事も自由にシェアしていただいても構いません。

皆様の近況報告や、同窓会開催の告知、同窓生の

活躍の様子など、節度ある範囲で、活用いただけましたら幸いです。(過度な宣伝等は、削除させて頂くことがあります)

また、卒業時と住所・名字等の変更がありましたら、「北嶺会」会員名簿の変更・修正に関する個票(別紙添付・ホームページ) FAX 0544-23-8021 または郵送でお願いいたします。

関東北嶺会だより

第四十一回 親睦会・墓参のお誘い



代表世話人 須藤 哲志

関東北嶺会に、いつもご支援いただき誠にありがとうございます。

さて、本年も恒例の親睦会及び創立者・望月軍四郎先生の青山墓地参拝を、風薫る五月三十日(土曜)に大勢の本部役員のご出席を仰ぎ開催する運びとなりました。

この会は本部役員から母校の現状や将来の展望・故郷の楽しいお話を聞くことができますので、多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。それぞれの地域で活躍されまされた、余生を満喫されている方・仕事現役の方々など、それぞれの舞台で日々ご多忙のことと存じますが、懇親会は人生、次のステップ・人生の二次会」と故郷を思い青春を思い出すよ

い機会です。

いつも参加される大先輩の中には、昭和十七年卒で授業で現役軍人から軍事教練を受けられた真保様・二十二卒で野球部の井上・陸上部の渡邊様や二十五年卒の多くの大先輩がお元気でいつもご出席され会を盛り上げてくれます。初めてでもご心配ありませんので気軽にご参加く

ださい。

昨今、めまぐるしく変わる社会・人生様々な節目にこそ関東北嶺会に結集し故郷を語り同窓の仲間と、懐かしい「玲瓏高き富士の嶺の」校歌を歌い心を和ませるの必要です。

母校の校歌は早大の「都の西北」の作詞者・相馬御風氏で、格段の格調と晴らしさがあります。

さて、母校は、昭和十二年開校で、本年、創立七十九年を迎えます。

この機会に、青山墓地墓参に行きませんか。(自由参加)

今ある自分に感謝をこめ一度は如何ですか。

当日、ご都合等で墓参出来ない方は直接会場でお会いしましょう。名簿等の不備で案内状をお送り出来ない場合があります。ご面倒ですがお気軽に幹事長まで、お問合せください

遠藤幹事長携帯電話

〇九〇一―九九八―五〇四七

創立者望月軍四郎翁の墓参

日時 五月三十日(土曜)

午前十時十五分(雨天決行)

集合場所 青山墓地管理事務所前

親睦会と年次報告

- 開会 同日午前十一時三十分
会場 ホテルゆうほうと六階
場所 品川区五反田八―四―十
電話 〇三三―四九四―六三三九
最寄駅 JR五反田駅西口徒歩五分
会費 六三〇〇円(男) 五五〇〇円(女)

体育・文化後援会の会費支援のお願い

体育・文化後援会理事長 今村 一徳

春たけなわの今日この頃、皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は体育文化後援会に、ひとかたならぬ御愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当会の設立趣旨は北嶺会の目的(創立者・望月軍四郎先生の「国家有能な人材育成」の建学の理念)を具現化させる為に、北嶺会会員及びPTAにより構成されております。

活動内容は生徒達に大切な人間形成の教育が受けられる様に学校教育現場へ多角度からの支援活動を展開してまいります。その中でも、本校の部活動は大変活発であり優れた教育現場です。生徒達は部活動を通じ多くの事を学び多くの経験をしております。

北校生皆が、卒業後この経験を礎に力強く羽ばたき素晴らしい人生になる事が私達の願いです。次世代を担う若者達を育てるのは、私達大人の責任と想います。

当会の活動をご理解の上、何卒、より多くの皆様方からのご支援ご協力を伏してお願ひ申し上げます。また、北嶺会会員皆様には我が母校の後輩達の為に、地域の皆様・企業様へのご支援ご協力のお願ひの活動も重ねてお願ひ申し上げます。

※個人年会費…一口三、〇〇〇円 法人年会費…一口一〇、〇〇〇円以上

平成25年度 体育文化後援会 会計報告

Table with 2 columns: 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure). Total income and expenditure are both 4,078,172.

# 三年間を振り返って

普通科

木口 広子

私の高校での三年間はたくさん  
の友人と出会い、部活に打ち  
込み、生徒会活動に取り組み、  
勉強に励む大変ながらも楽しい  
三年間でした。

部活では、尊敬できる先輩、  
頼もしい後輩、そしてどんな時  
も支えてくれる優しい同輩と信  
頼できる先生に出会いました。  
二年後半では副部長を務め、大  
変でしたがとてもやりがいがあ  
り、楽しくもありました。

商業科

深澤 菜緒

私の三年間は、大変恵まれた  
ものだったと思っています。い  
い先生、いい友人に囲まれて、  
素晴らしい日々を過ごしてきま  
した。難関と言われた公務員試  
験に合格し、全商検定八冠をと  
り、さらには名誉ある望月軍四  
郎賞までいただけてしまいました  
。そういった表面的なことだ  
けでなく、内面的な、精神的な  
部分でもたくさんものを得ら  
れた高校生活でした。自分ひと

一年の後期から二年の後期ま  
で生徒会活動も行いました。生  
徒会は初めての経験で慣れない  
こともたくさんありましたが、  
成し遂げたことは自信につなが  
り、また多くのことを学ぶこと  
が出来たと思います。

他にも友人との絆を深めた修  
学旅行、クラスで模擬店をやつ  
た最後の文化祭、三年間の集大  
成である最後のコンクールな  
ど、忘れられない思い出はたく  
さんあります。三年間、本当に  
充実した高校生活でした。

りではできないこともたくさん  
あったと思います。わたしが一  
つでも多くの検定を取得しよう  
と思っていたのは、他の高校や  
普通科に進学していたらできな  
いであろうことを成し遂げた  
かったからでしたが、資格取得  
に限らず、もっと大切で大きな  
ものを得られた三年間だったと  
思っています。

高校を卒業した今、私に色々  
なことを教えてくれた先生方や  
友人たちに対する、感謝の気持  
ちでいっぱいです。

## 故・川島明様を偲んで

北嶺会副会長 市川 緑

関東北嶺会において長年に  
渡り活躍されました川島明様  
(昭和二十五年卒)が、昨  
年十二月突然ご逝去された  
の知らせを受け、五月三十一  
日関東北嶺会総会でお会いし  
たばかりでしたので大変驚き  
ました。

川島様は関東北嶺会。墓参  
には必ず出席され、また同窓  
生に向けて「ふれあい通信」  
という冊子を発行されていま  
した。

その内容は、知識豊富で  
魅力あるものでし  
た。その冊子と共  
に送られてきまし  
た手紙の中の一部  
を紹介させて戴き  
ます。

ふるさとを離れ  
た地で頑張ってい  
る同窓生が居る事  
を解ってほしくて  
ふれあい通信をお  
届けします。そし  
て心から願ってい  
ます。頑張れふる  
さと。

「母校」とは「北嶺会」とは  
身を以らて  
教へてくれし人今はなき

グラス手に  
掲げて君のおだやかな  
その面影の今は幻

